

道路  
特定事業  
(概要)

特定経路 及び 準特定経路	歩道の整備・歩道の幅員確保 防護柵の設置・改良 側溝蓋改良や路肩の整備 バリアフリー化に配慮した路面舗装 違法広告物等の撤去並びに防止に関する広報啓発活動 歩道の段差や波打ちの改良 歩道のすり付けや勾配の改良 案内標識の整備 視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良 歩道上の迷惑駐輪対策 交差点・横断歩道上の違法駐車対策
---------------------	---

交通安全  
特定事業  
(概要)

特定経路について、視覚障害者や高齢者の利用に配慮した福祉対応型信号機への改良 交差点における信号サイクルの見直し 道路標識・道路表示の設置について、道路管理者等と協議・実施 道路管理者と合同取り締まりの実施や広報・啓発活動の促進
---

その他の事業  
(概要)

川西能勢口北駅前広場	視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良 駐輪場整備の検討 違法駐輪の取り締まり・広報・啓発活動の実施
川西能勢口南駅前広場	階段段鼻の改良 視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良 駐輪場整備の検討 違法駐輪の取り締まり・広報・啓発活動の実施 バス停へのベンチ設置の検討 タクシー乗降口の改良
川西池田駅前広場等	駅前広場・通路からデッキ及び駅自由通路へのエレベーター整備 市営駐車場のエレベーター利用の促進策としてのサイン整備 違法駐輪の取り締まり・広報・啓発活動の実施 バス停へのベンチ設置の検討 タクシー乗降口の改良 視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良

\*各特定事業の実施に際しては、関連する事業者間で協議・調整を図ります。

本構想の策定にあたりましてご尽力賜りました、川西市交通バリアフリー重点整備地区計画策定協議会委員の皆様をはじめ、関係者の方々に心から感謝申し上げますとともに、市民の皆様のおお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

川西市土木部  
土木政策室土木政策課  
平成16年発行

〒666-8501 兵庫県川西市中央町12-1  
TEL.072-740-1111(代表) FAX.072-740-1323  
URL:http://www.city.kawanishi.hyogo.jp

おわりに...

# 川西市 交通バリアフリー 重点整備地区 基本構想(概要版)



川西能勢口駅及び南側駅前広場

## 基本構想策定の目的と意義

わが国では急速に高齢化が進んでおり、平成27年(2015年)には国民の4人に1人は65歳以上という超高齢社会が到来すると予測されています。また、障害者が障害のない人とともに社会に参加できる「ノーマライゼーション」の理念に配慮したひとにやさしいまちづくりが求められています。

このような状況の中で、平成12年11月に「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」(通称:交通バリアフリー法)が施行されました。法律では、市町村は、国が定める基本方針に基づき、一定規模の駅等の旅客施設(特定旅客施設)を中心とした地区(重点整備地区)について、駅等の旅客施設、道路、駅前広場、交通安全施設等のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するため、当該重点整備地区におけるバリアフリー化のための方針、実施する事業等を内容とする「基本構想」を作成することができます。

このたび川西市では、本法律に基づき、全市的な交通バリアフリー整備の考え方、重点整備地区の区域、実施する事業等を内容とした「川西市交通バリアフリー基本構想」を策定しました。今後、川西市では、この構想のもと、交通事業者等とともに、重点整備地区におけるバリアフリー整備を進め、高齢者、身体障害者等にとって住みよいまちづくりを推進していくこととなります。

### バリアフリー

段差や仕切りをなくすなど、高齢者や障害者に配慮した仕様にすること。

### ノーマライゼーション

高齢者や障害者であっても、ごく普通の生活を営むことができ、かつ差別されない社会をつくるという基本理念。

## 基本構想策定体制

基本構想の策定にあたり、駅や道路、交通安全施設に係わる事業者に加えて、市民団体の代表者(高齢者、身体障害者等)や公営市民等で構成された「川西市交通バリアフリー重点整備地区計画策定協議会」を設置するとともに、ワークショップやアンケート調査、意見募集等をとおして、高齢者、身体障害者、市民等の意見を基本構想に反映しました。

### ワークショップ

英単語の意味は、研究、集会、研修会、作業場。特定のテーマについて、みんなでアイデアを出しあう場。

今回の基本構想の策定においては、重点整備地区(川西能勢口駅及び川西池田駅周辺地区)について、市民(高齢者、障害者、健常者)、行政、交通事業者等と一緒に現地の点検調査を行い、バリアフリー整備について議論しました。



# 川西市交通バリアフリー整備の基本理念と基本方針

# 川西能勢口駅及び川西池田駅周辺地区特定事業

## 重点整備地区内でおこなわれる主なバリアフリー整備の内容

## 基本理念

みんなが共に  
楽しく暮らせる  
まちづくり

高齢者や障害者、子育て層をはじめ、だれもが自由に移動し、社会参加ができるまちづくりを進めるため、川西市交通バリアフリーにおける基本理念を「みんなが共に楽しく暮らせるまちづくり」とします。

計画の整備目標時期：平成22年(2010年)

## 基本方針

### 1 重点整備地区をモデルとして段階的に整備を進めます

交通バリアフリー法における重点整備地区(特定旅客施設(一日の乗降客数が5,000以上の旅客施設等)を中心とした地区)を全市的なバリアフリー整備のモデル地区として、優先的に整備を進めます。

今回は、川西能勢口駅及び川西池田駅を第1期重点整備地区として抽出し、基本構想を策定しました。

年 度	平成15 (2003)年度	平成17 (2005)年度	平成22 (2010)年度
国におけるバリアフリー整備の取り組み		整備目標等 基本方針の 中間見直し	交通バリアフリー法の 目標年次
川西市におけるバリアフリー整備の取り組み	第1期(平成16年度) 川西能勢口駅及び川西池田駅周辺地区 基本構想の策定及び事業実施		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的・経済的な状況</li> <li>第1期基本構想の進捗状況</li> <li>国の見直し内容の反映</li> </ul>		
	第2期(平成18～19年度) 他の駅から重点整備地区を抽出 基本構想の策定及び事業実施		

### 2 ユニバーサルデザインの導入を進めます

すべての人を対象とした社会参加を支援するために、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、計画や施設整備を進めます。

### 3 誰にとっても優しい駅舎をめざします

鉄道駅の駅舎においては、バリアフリーの環境整備を図るとともに、親しみやすさを備えた、だれにもやさしい駅舎をめざします。

### 4 道路、駅前広場、信号機等のバリアフリー環境整備を進めます

駅舎と公共施設を結ぶ道路、駅前広場等の移動空間のバリアフリー整備により、駅舎を中心とした面的なバリアフリー化を進めます。

信号交差点では、だれもが安全に横断できるよう、信号機等のバリアフリー化を進めます。

### 5 こころのバリアフリーを進めます

学校教育におけるバリアフリー教育の推進、事業所の職員研修や市民対象の啓発を実施することにより、こころのバリアフリー化を進めます。

### 6 市民・事業者・行政の協働で進めます

公共交通事業者、道路管理者、公安委員会等の関係者と協議を行い、一体的・重点的な整備を市民・事業者・行政の協働のもとでバリアフリー整備を進めます。



## 公共交通 特定事業 (概要)

川西能勢口駅	視覚障害者誘導用ブロック(課題箇所)の整備検討 よりわかりやすい案内表示の整備検討 車いす利用者等の乗降時における適切な渡し板の取り扱いを図る 駅員の研修・教育の充実
川西池田駅	駅前広場、通路からデッキ及び駅自由通路へのエレベーター整備 一般トイレの洋式便器(男女各1個)の設置 階段の二段手すりの改良を検討 車いす利用者等の乗降時における適切な渡し板の取り扱いを図る 駅員の研修・教育の充実
バス・バス停	低床バス車両の導入 視覚障害者誘導用ブロックの設置 案内表示板の設置、改良 乗務員の研修・教育の充実

## 道 路 特定事業 (概要)

重点整備地区内の各路線の特性や重要度等に配慮して、特定経路※と準特定経路※を右図のとおり、決めました。

特定経路及び準特定経路において、実施する道路特定事業は裏面をご覧ください。

